

都 市 計 画 部
 ま ち づ くり 政 策 課
 直 通 9 3 4 - 4 7 6 0

ヒト中心のまちづくりへ

～人の行動データに基づく新たなまちづくり～

本年3月に策定した「沼津市中心市街地まちづくり戦略」に基づく、ヒト中心のまちづくりを進めていくため、市民の行動や活動実態など、まちづくりに関する各種データの活用によるまちづくり分野のスマート化を推進します。

■概要

「沼津市中心市街地まちづくり戦略」では、沼津駅周辺の市街地をヒト中心の魅力ある場所へと再生し、多くの市民や来訪者が集う都市の顔として再構築していくために、沼津駅周辺総合整備事業に併せて実施すべきまちづくりの施策の方向性を示しました。

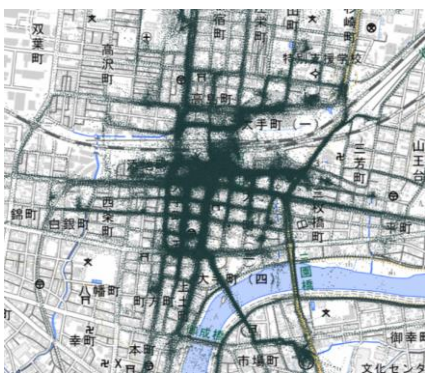
この戦略の大きな方向性であるヒト中心のまちづくりを具現化していくため、市民の行動や活動実態などを把握し、そのデータに基づく施策実施の効果を予測、施設配置、空間形成、交通施策を検討する手法である「スマート・プランニング（※）」に取り組みます。

■今年度の取組

令和2年度は、沼津駅周辺における人々の行動を詳細かつ具体的に把握するため、369人の市民モニターに協力していただき、スマートフォンを用いたプローブパーソン調査を実施しました。

調査の結果、移動目的が買い物の場合、目的先は沼津駅周辺にコンパクトにまとまっているため、ゾーン間の移動が多くはないなどの傾向が見られました。

今後、当調査で得られた移動経路、立ち寄り場所、滞在時間などのデータから現況を再現（可視化）するとともに、人々の回遊や滞在の特性について分析し、回遊や滞在が促進される公共空間に再編するための施策検討に活かしていきます。



<移動経路>



<目的地>



<ゾーン間移動>

■今後の取組

今年度の分析を踏まえ、沼津駅周辺における公共空間の再編についてサイバー空間におけるシミュレーションを実施し、公共空間再編整備計画を策定していきます。

このように、新たな技術を用いてまちづくりの見える化に取り組むことにより、市民や事業者に分かりやすく説明するとともに、共通認識を持って施策を検討するなど、公民が連携したスマートシティを見据えたまちづくりを進めていきます。



※スマート・プランニング

スマート・プランニングとは、個人単位の行動データをもとに、人の動きをシミュレーションし、施策実施の効果を予測したうえで、施設配置や空間形成、交通施策を検討する計画手法です。具体的には、ビッグデータを活用して、個人の移動特性を把握し、施設位置や道路空間の配分を変えた時の「歩行距離」や「立ち寄り箇所数」、「滞在時間」の変化を見て、施策を検討するための計画手法です。

スマート・プランニングを活用することで、定量的かつ客観的なデータに基づいた判断が可能となり、まちづくりに対する市民や事業者等の関心が高まり、円滑な合意形成等に資することになります。

■問合せ等

担 当 沼津市役所都市計画部まちづくり政策課
電 話 055-934-4760
電子メール mati-seisaku@city.numazu.lg.jp